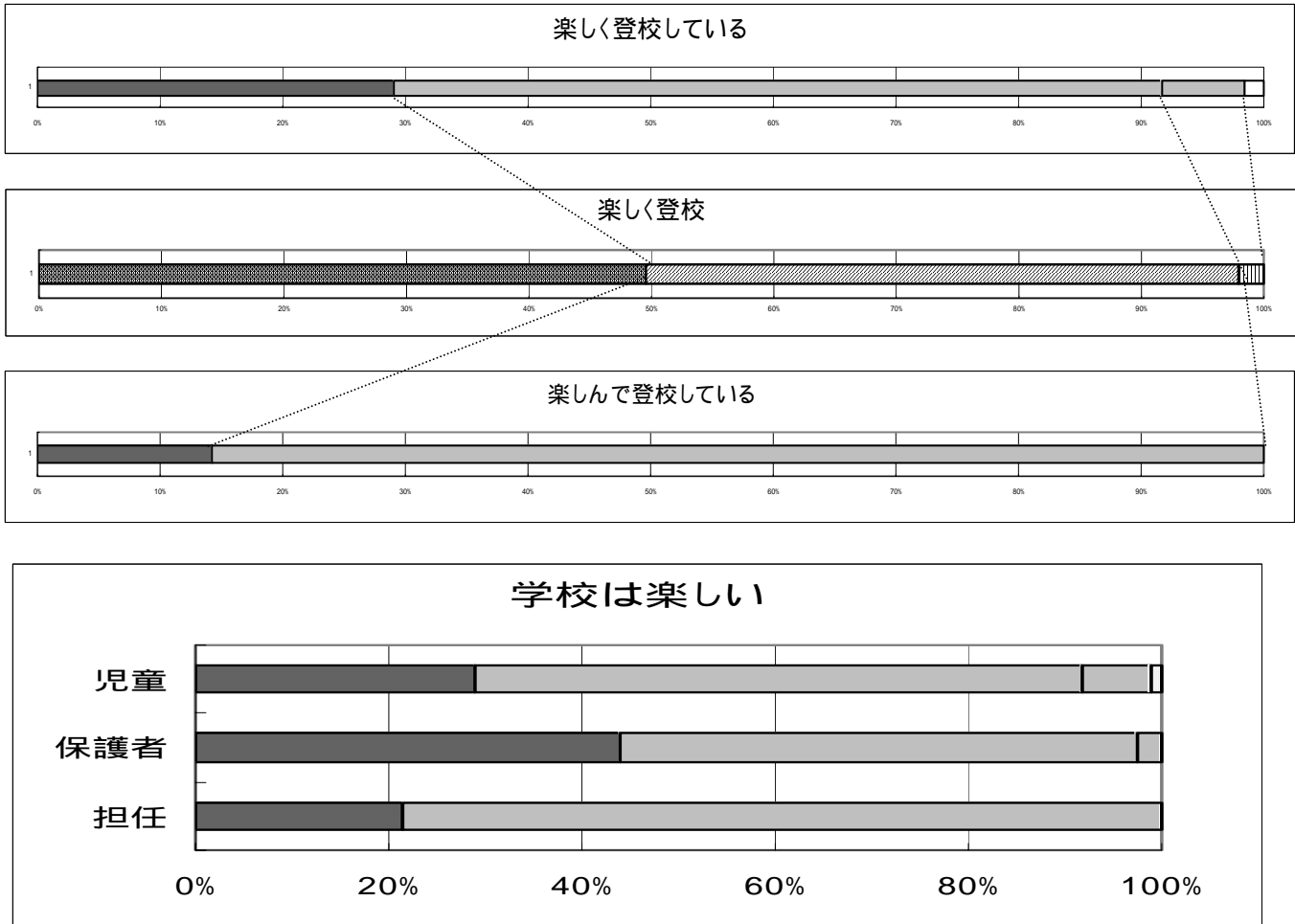
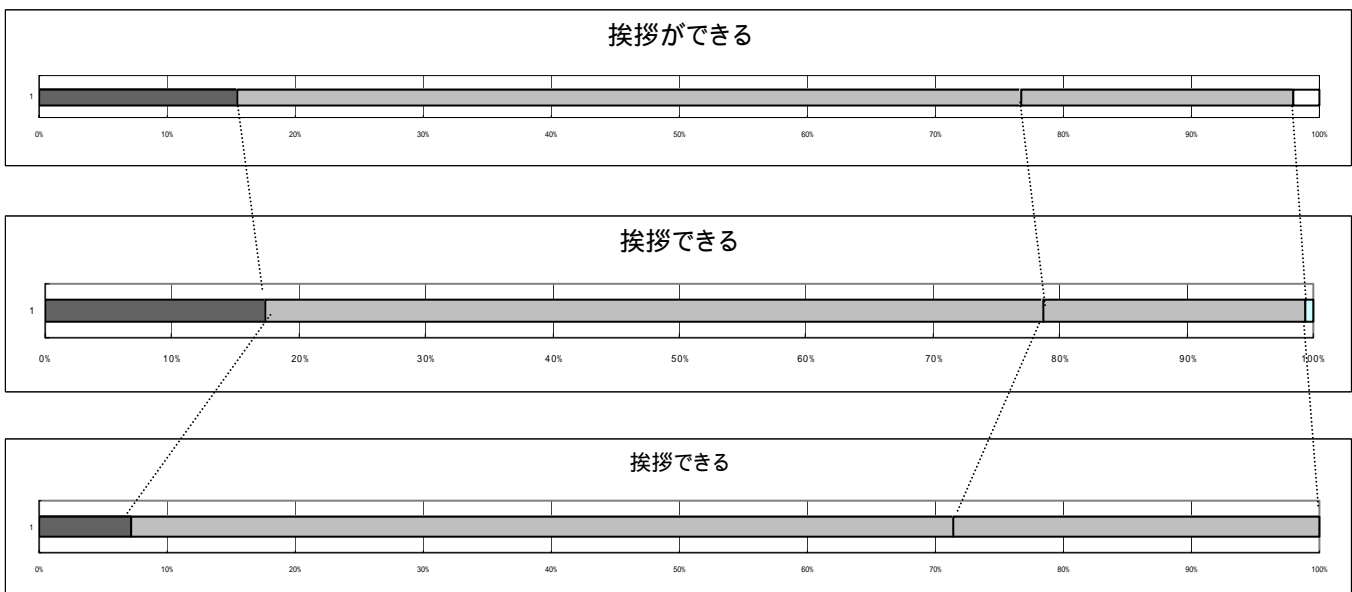


19年度学校評価まとめ

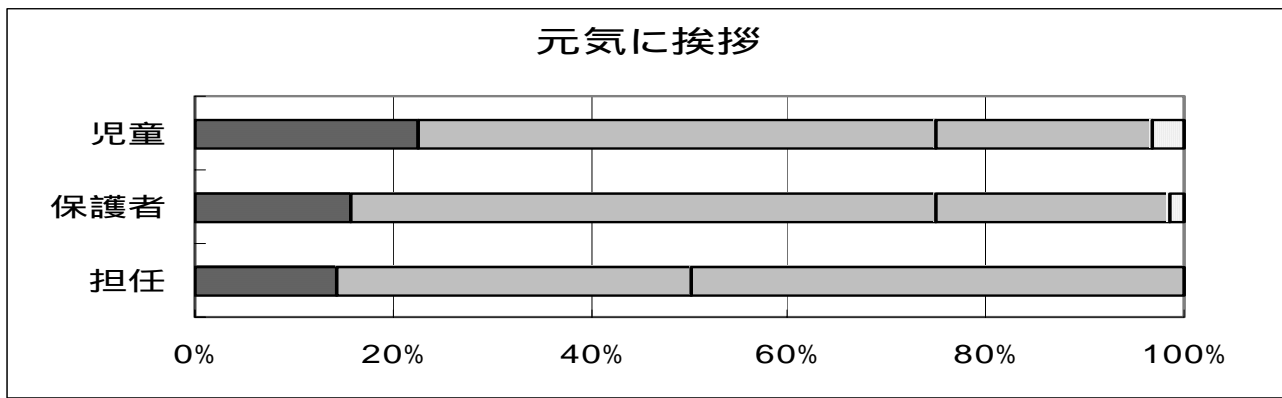
児童・保護者・教師の3者が同じ項目について評価し7月と比較して検討しました。上の段7月：下の段12月



ほぼ同じ傾向であるが、担任の評価が上がっている。クラス作りができてきていると言える。

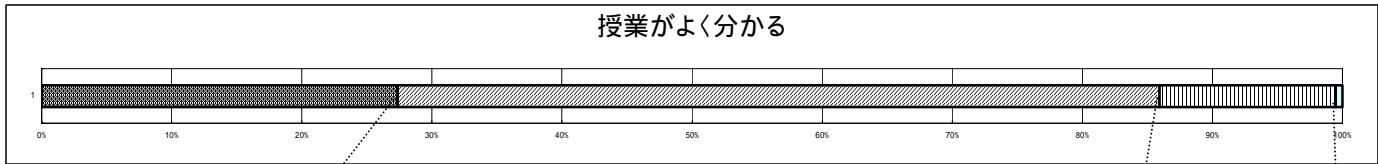


元気に挨拶

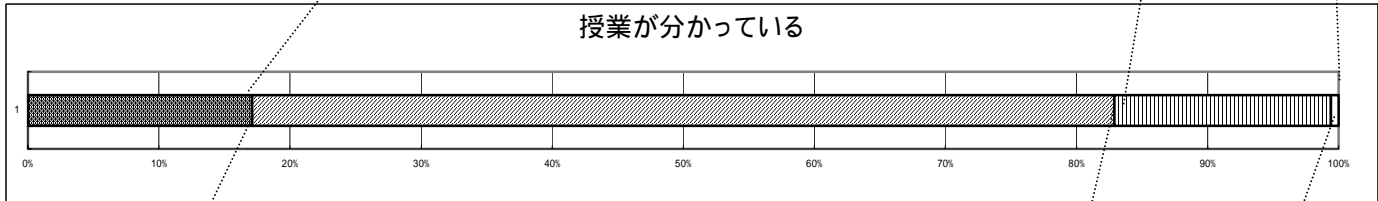


児童の評価が下がっているのが気にかかるが、担任はできるようになってきていると感じている。地域の方からは大人からすれば挨拶を返してくるが進んで子どもからしてくることはないという評価があった。自分から挨拶できる子を育てたい。

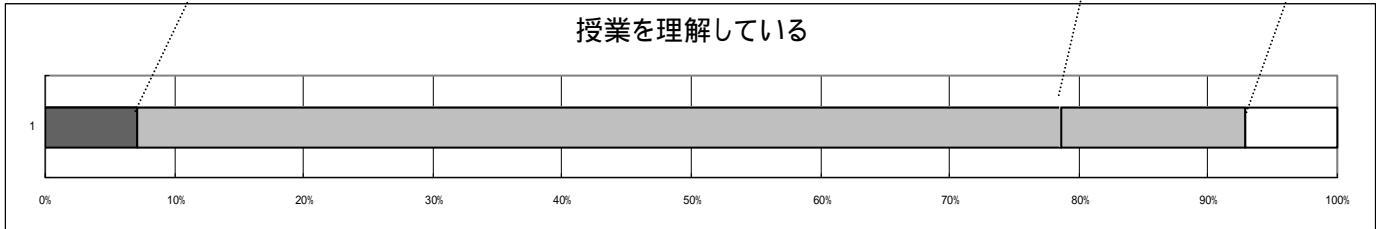
授業がよく分かる



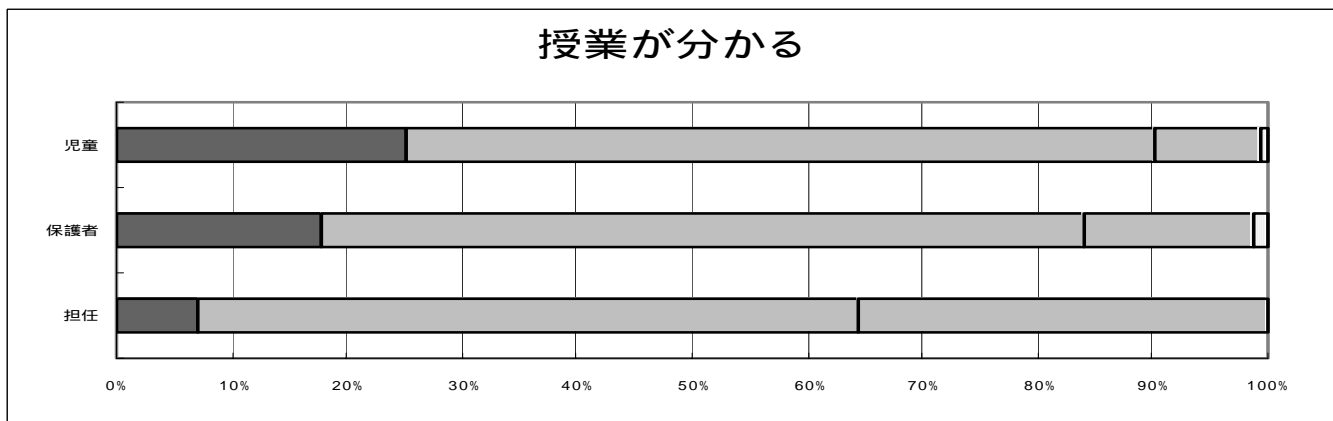
授業が分かっている



授業を理解している

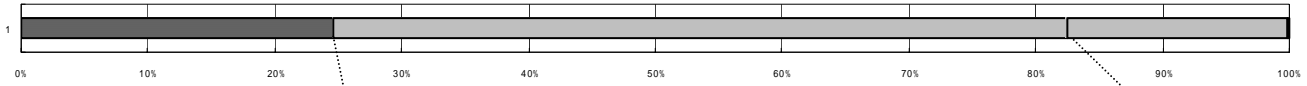


授業が分かる

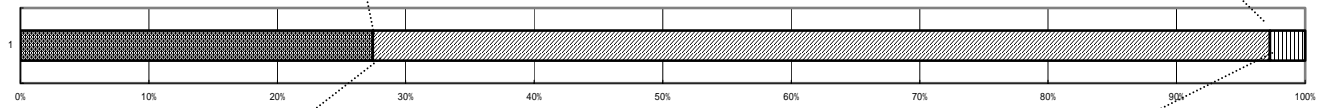


担任は自分の指導に厳しい評価をしているものの、児童の評価は上がっており、毎時間の授業を大切に取り組んできてよく分かる授業を作れるようになってきている。

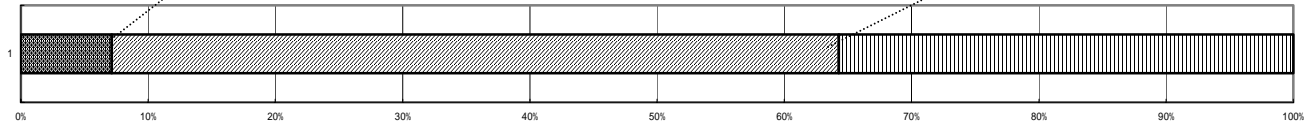
分かるまで教えてくれる



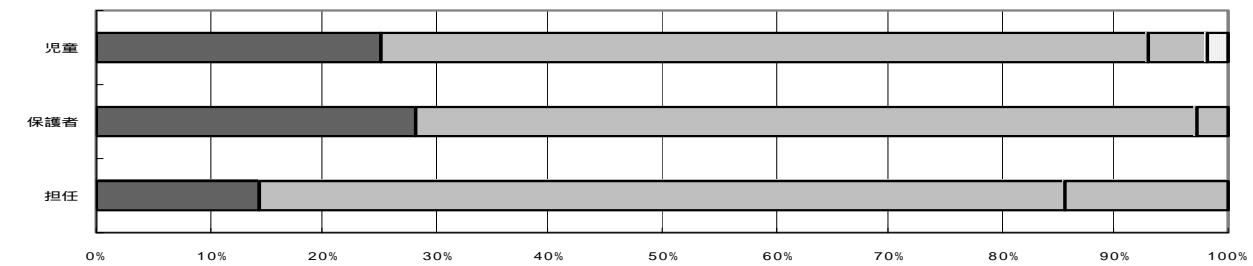
分かるまで教えてくれる



分かるまで指導している

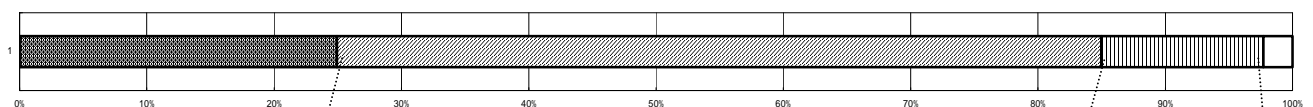


分かるまで教えている

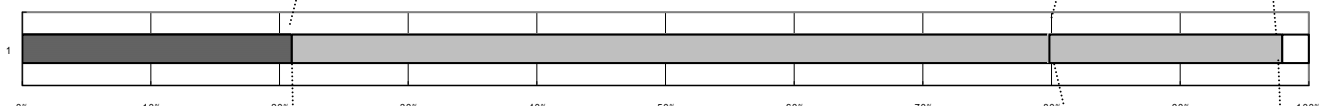


担任の評価が上がっている。児童一人ひとりをつかみ、放課後の補充学習などで分かるまで教えようとしており、児童もその熱意を感じている。

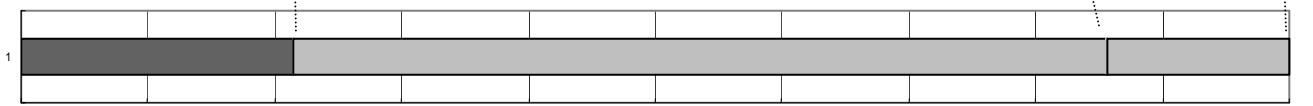
家庭学習をしっかりする



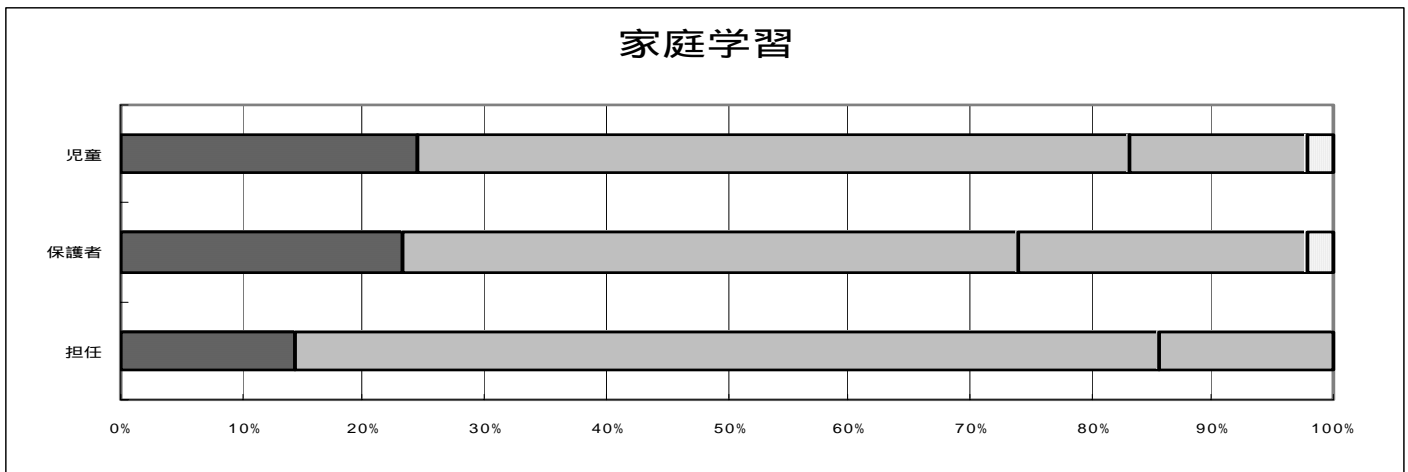
家庭学習をしている



家庭学習をしている



家庭学習



保護者の評価が下がってきている。夏休み前には頑張っていたことが、少し評価が下がり、残念である。家庭学習に対する支援も行っているが、今後も家庭学習の大切さを啓発すると共に、個に応じた指導を更に充実する必要がある。